

記入日：令和2年7月27日

所在地（都道府県/市町村）：北海道芦別市		
法人名：社会福祉法人芦別白光舎		
施設・事業所名：芦別白光舎	担当者名：三谷 太一	
事業種類：社会事業授産施設		
主たる障害：3障害	令和2年3月末現在 定員：50人	
TEL:0124-22-2139	FAX:0124-22-4884	E-mail:info@hakkousya.jp

① 令和元年度までの主な取り組み内容



クリーニング事業

1. ホームクリーニング
2. ホテルリネンサプライ
3. ユニホームサプライ

ベアリング組立

（地元企業からの委託業務）

## ② 施設・事業所における新型コロナウイルスの影響

観光客の減少によるホテルリネンサプライ事業の売上減少

4月 -33%

5月 -64%

6月 -45%

## ③ コロナ下において新たに始められた取り組みの内容

**事例タイトル：第一次産業（農業）の人手不足に協力**

**取り組み内容：**

作業量が減少したリネンサプライ事業の職員と利用者については、人手不足が生じている地元農業法人へ人員（職員・利用者）を派遣し、一時的ではあるが農福連携を試みた。

## ④ ③の取り組みを始めたきっかけ・工夫した点

3月からリネンサプライ事業が激減し危機感を覚えた事から、人手不足が生じている「農福連携」に取り組んでみた。

各農業法人には、利用者も就労する事を十分理解していただいたうえで、単純作業を依頼した。

## ⑤ 取り組みの効果（売上や顧客、利用者、職員、地域等における効果）

売上に関しては、かなりの補填となり、工賃の確保につながった。

農作業をやり遂げた利用者は自信がついたと思われる。

来年の約束もしてくれた法人もあり、安定した作業の確保にもつながった。

## ⑥ ③の取り組みを開始するにあたり新たに導入した生産設備・備品（経費・財源）等

農作業用の備品（帽子、長靴、合羽等）を購入

## ⑦ 今後の課題・展望

農福連携を凶る事により、閑散期における作業量の確保、高工賃の支給、さらには利用者の社会参画、一般就労のきっかけとなるよう働きかける。